

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日 ～ 2026年 1月 9日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名 (保護者 19名)	(回答者数)	保護者 17名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日 ～ 2026年 1月 9日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスと放課後児童クラブの共生	活動内容を統一して、全員が同じ目的を持って取り組めるよう工夫している。また一人一人の特性に応じた役割を与えることで、ストレスを抱えずに参加できるようにしている。	開所して3年が経ち、初年度から在籍している児童の成長も見られるため、高学年向けの役割などを考えながら取り組んでいく。
2	地域住民との交流	毎年8月の夏祭りが地域の方にも認知されてきており、たくさんの方に足を運んでいただいている。また地域の異業種の方にも声を掛け協力していただくなど、新しい要素を盛り込んでいる。	より地域の方に認知され足を運んでもらうために、SNSの活用や新しい企画を考えて、アップデートしていく。
3	イベントやグループワークの充実	社会体験イベントやグループワークなど、マンネリがないよう、そして支援に繋がるよう、常に新しい取り組みを計画している。	イベントの中に支援の要素をもっと取り入れていき、楽しいだけでなく個人の成長につながるよう、内容を充実させていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会や親子イベントなどの不足	開催頻度の不足、保護者ニーズの把握不足が足りない。	年間を通じて保護者や家族向けの支援、保護者と児童の触れ合い、保護者同士の交流など開催頻度を増やし、すべてのご家庭に対して行き届くよう企画していく。
2	各種訓練や研修など事業所での取組に対して、保護者の認知がまだ足りない	今年度は終了後にHUGにて研修等の活動をアップしているが、全保護者への認知という部分では足りなかった。	年間プログラム、月間活動内容の充実、また玄関エントランスの案内の充実など、どの保護者の目にも届くよう工夫していく。
3	子供や保護者への共感的支援が足りない	子供や保護者の受け取り方が、説明する職員によってバラツキがある。共感的、肯定的支援に対して配慮が足りない職員がいる。	職員同士しっかり共有して支援にあたれるよう、共通理解を図っていく。相手の気持ちを尊重する、そのために必要な言葉選びや聞き方などを学ぶ機会、意見交換の場を増やしていく。